令和5年度
広島県府中市小中一貫教育研究大会

府南学園　教育研究テーマ
義務教育9年間を見通した資質・能力の育成
～　主体的な学びの充実を通して　～

府中市立国府小学校
府中市立栗生小学校
府中市立　旭 小学校
府中市立　南 小学校
府中市立第一中学校

令和5年度 府中市小中一貫教育研究大会

第2分科会
ことば探究科
「学びの基盤」

令和5年11月10日（金）

府 南 学 園

1. 府南学園の取組み

2. 本分科会について

3. 府南学園でのことば

4. 本日の授業について

5. 成果と課題

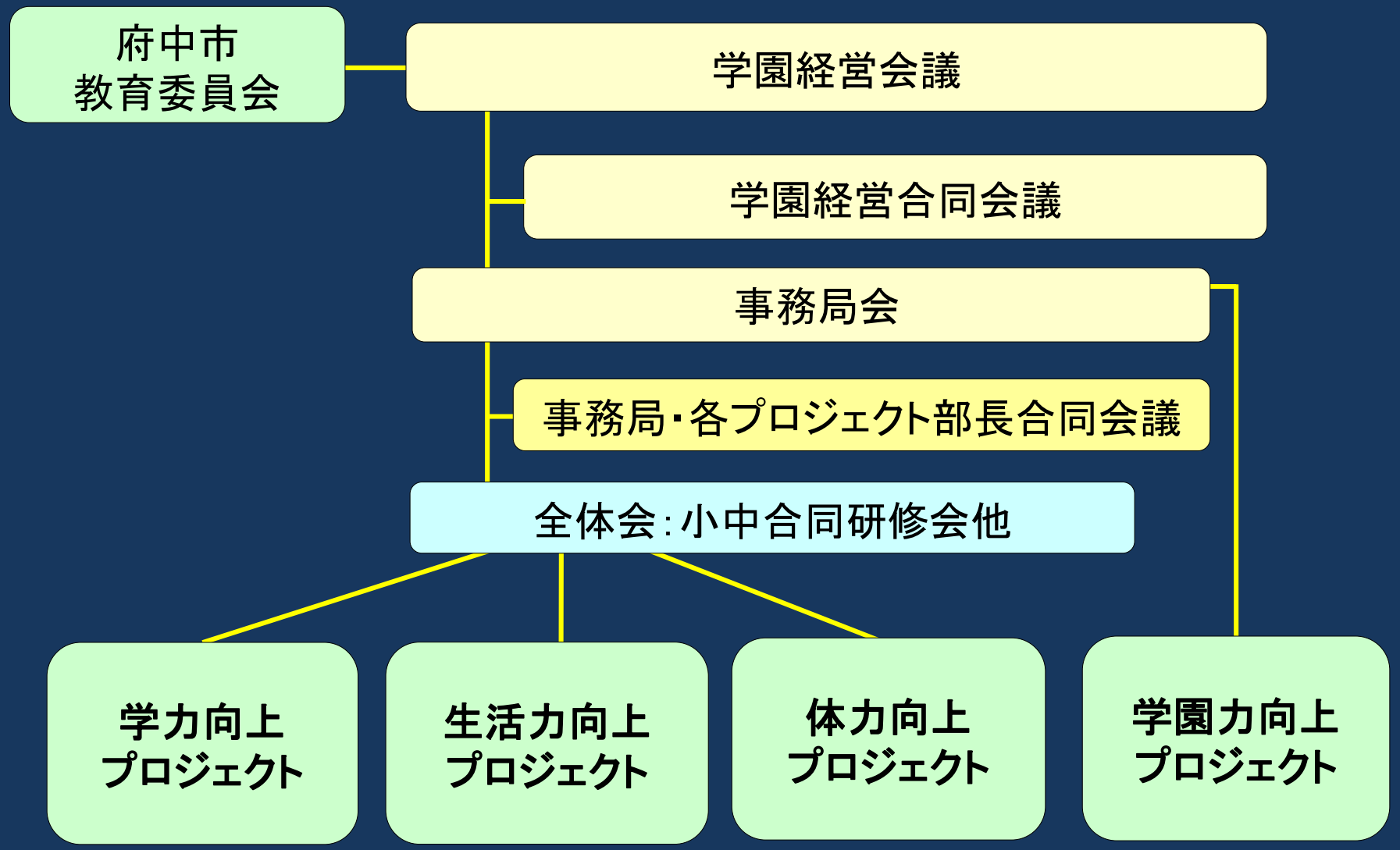
1. 府南学園の取組み

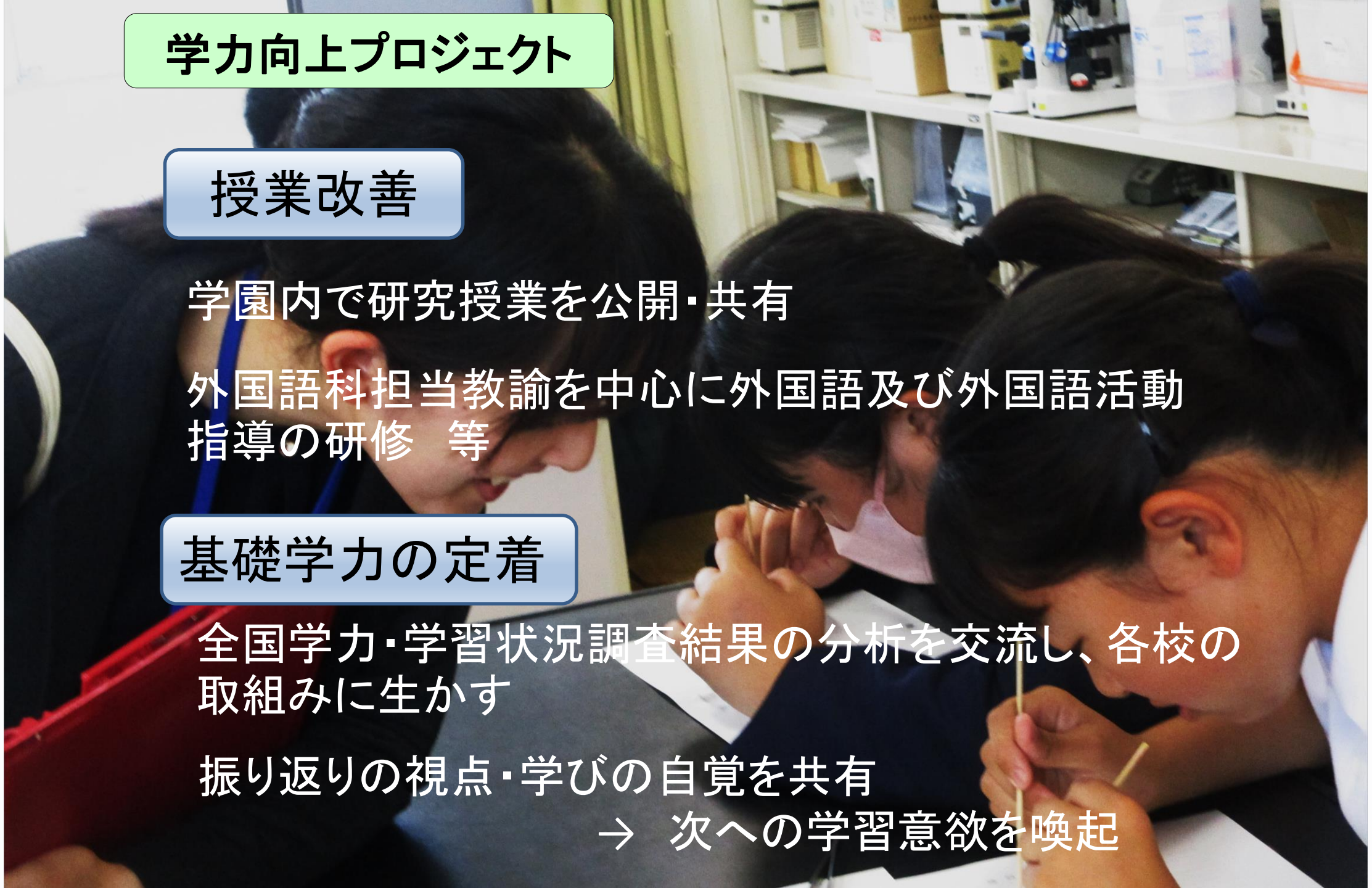
府南学園　　令和５年度　府南学園小中一貫教育研究テーマ

義務教育９年間を見通した資質・能力の育成
～　主体的な学びの充実を通して　～

言語能力　**情報活用能力**　**問題発見・解決能力**

研究組織


府中市
教育委員会
学園経営会議
学園経営合同会議
事務局会
事務局・各プロジェクト部長合同会議
全体会：小中合同研修会他
学力向上
プロジェクト
生活力向上
プロジェクト
体力向上
プロジェクト
学園力向上
プロジェクト



学力向上プロジェクト

授業改善

学園内で研究授業を公開・共有

外国語科担当教諭を中心に外国語及び外国語活動指導の研修　等

基礎学力の定着

全国学力・学習状況調査結果の分析を交流し、各校の取組みに生かす

振り返りの視点・学びの自覚を共有

→　次への学習意欲を喚起

生活力向上プロジェクト

自治的活動の活性化

リーダー研修会

地域や保護者と一緒に挨拶運動
（実態に合わせてレベル5をめざす）

不登校児童生徒の減少に向けた取り組み

体力向上プロジェクト

外遊び等の体を動かす機会を設ける
身体を動かす楽しさを味わわせる

新体力テストの質問紙や測定結果から学園の課題をつかみ、改善へ

府南学園学童陸上記録会に中学生も参加

学園力向上プロジェクト

乗り入れ授業

小学校教員が中学校へ、中学校教員が小学校へ

合同研修会

年間計画立案のための合同研修

毎年1校の教育研究会へ全員参加

オープンスクール

中学校生活の説明、授業体験、部活動体験

学びをつなぐ

外国語教育の充実・発展
ことば探究科及びICTの推進
教科担任制の推進

児童・生徒をつなぐ

ふなん
27の日あいさつ運動
リーダー研修会
学童陸上記録会
ボランティア活動

教職員をつなぐ

小中合同プロジェクト
教科等授業研修
小小連携・小中連携

府南学園5校で重点的に育成したい資質・能力

		小学校1・2・3・4年	小学校5・6・中学校1年	中学校2・3年
言語能力	知識 技能	・主語・述語を正しく使うことができる。	・相手に分かりやすく伝えるための視点を理解することができる。	・相手に分かりやすく伝えるための視点を理解し、状況に応じて活用することができる。
	思考 判断 表現	・自分の思っていることや感じていることを言葉で表すことができる。	・関連付けたり、比較したりして、十分な根拠を挙げ、自分の考えを述べることができる。	・レポートや論文等の形式で、既存の知識と関連付けて、論理立てて主張をまとめる等、自分の考えを構築し、目的に応じて表現することができる。
	学びに 向かう力	・言語技術を楽しみ、慣れ親しむことができる。	・習得した言語技術を他の教科等で使おうとすることができる。	・言葉を通じて、社会と関わり、思いやりや協調性を高め合うことができる。
情報活用能力	知識 技能	・基本的な情報モラルを理解し、基本的な操作ができる。	・責任をもって、情報と情報技術を適切に活用することができる。	・情報手段の基本的な操作を習得できる。 （問題発見・解決のための安全・適切なプログラムの制作）
	思考 判断 表現	・課題に関する様々な情報を収集し、情報を整理できる。	・集めた情報どうしのつながりを見付けたり、簡易な表やグラフや思考ツールを用いて情報を整理したりできる。	・調査や実験等を組み合わせながら情報収集し、目的に応じた表やグラフや思考ツールを選択・活用し、適切に情報を整理できる。
	学びに 向かう力	・情報活用を振り返り、よさに気付くことができる。	・情報を効果的に活用できているか評価し、改善点に気付くことができる。	・情報を効果的に活用できているか評価し、改善点を論理的に考えようとすることができる。
問題発見・解決能力		・体験や学習をもとに、課題を設定し、見通しをもつことができる。	・収集した情報から、新たな課題を設定し、解決方法を探して計画を立てることができる。	・焦点化した問題の中から課題を見出し、ゴールを明確にして、計画を立てることができる。
		・解決に向けて取り組み、学習したことを振り返ることができる。	・結果を予測しながら実行し、学習方法を振り返ることができる。	・結果を予測しながら実行し、振り返って次の問題発見・解決につなげていくことができる。

本質に迫る
～　主体的な学びの充実を通して　～

第1分科会	第2分科会	第3分科会	第4分科会
学びの土壌	学びの基盤	学びに向かう力	学びの課題解決
特別活動	ことば探究	国語、算数 体育、総合	外国語活動 外国語科

2. 本分科会について

「学びの基盤」の定義

➡「学びの基盤」とは、教科等を越えたすべての学習につながる**言語能力**及び**論理的に表現する力**のことであり、児童生徒が探究していくための基盤である。

言語能力……「**学習の基盤となる資質・能力**」のひとつ。

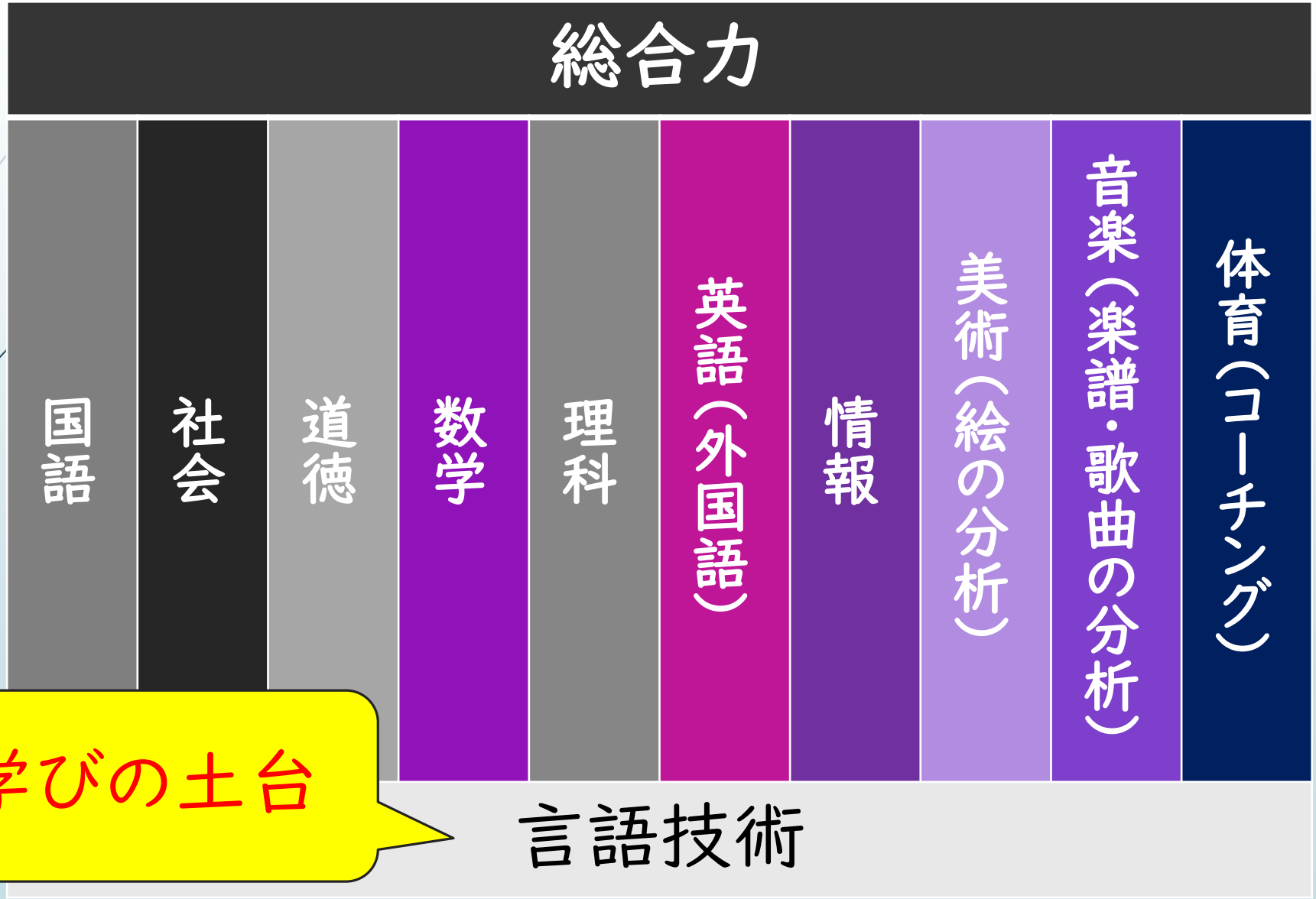
（論理的に）表現する力……県が定める「**広島県の15歳の生徒に身に付けておいてもらいたい力**」のひとつ。

府中市独自の新教科
「ことば探究科」

言語能力

論理的に表現する力

言語技術と他教科との関係



全ての学びの土台

様々な分野に関係する

言語技術教育　学びの全体像

◎対話と議論【目的：自分の考えを整理し，広げ，具体化する】

★問答ゲームの４つのルール

①主張→根拠→ま

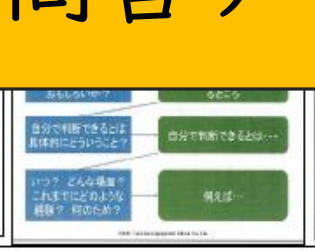
③整った文

6W1H

どこ・だれ・

何のため】

問答ゲーム



◎情報伝達【目的：相手に分かりやすく伝えるための視点の理解】

【①対象を正確に詳細に観察する技術②対象物の特性を取り出す技術③情報整理の技術④事柄の重要性を判断する技術⑤秩序立った視点移動の技術⑥多様な表現力】

★描写（空間

描写）：ある対

いない人が思

ように伝達す

⇒それはどん

案内，部屋の

理の作り方

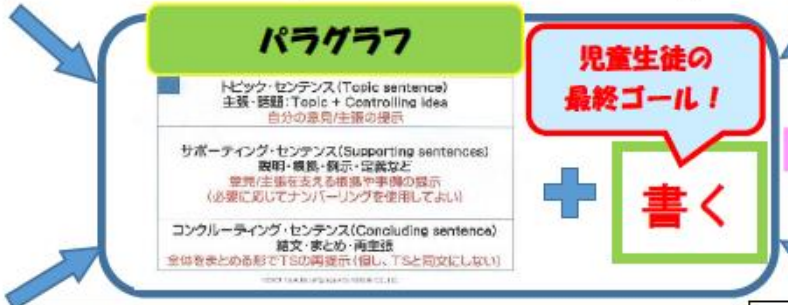
のように？

★記録：議事録，観察記録

⇒事実として何があったの？

★報告：一日の報告，旅行の報告，事故の報告

⇒いつ，どこで，何を？



教師による評価

（ルーブリック）

◎作文と物語【目的：作文の契機，文章構成の技術の育成】

★物語：物語の構造

・物語の構造を意識した聞き取り

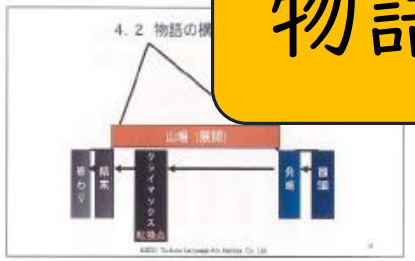
・物語の構造を手掛

・物語の展開上の

★再話：テクストの再編成

・【聴く力，要点を捉える力，要約力，理解力，読解力，語彙力，表現力，作文力，記述速度】の向上

ロットの大事なと



を分析できるようになる

②一人称，三人称の語りの視点が理解できるようになる

【絵画作品】

③様々な角度から絵画作品を分析できるようになる

◎情報分析【目的：クリティカル・リーディングの基礎（分析力，読解力）を身に付ける】

★絵の分析

・対象を観

・文章の読

・名画の鑑

全体→部分

○１設定（

○２人物（性別，職業，年齢，性格）

○３絵の中で起こっている状況

○色，色の意味，構図

○作者の背景

テクスト

る

て議論

に基づい

て小論文記述

○構造，登場人物，視点，設定，スタイル，調子

問答ゲーム

情報伝達

物語の学習

情報分析

様々な場面において筋道立てて
説明したり、議論し合ったりしながら
探究する児童生徒

3. 府南学園でのことば

基盤の基盤づくり

- 言語能力の基盤

＝問答ゲームの徹底

・毎朝、朝の会で
・授業始めに
・帯学習の時間で

対話による深め合い

- 対話によって自他の意見を認め合い、思考を深める・深め合う
  - ・ペアで
  - ・グループで
  - ・全体の場で

指導力の向上・統一化

- ことば探究科

⇒「わかる」「できる」「深める」

・初めての授業者はリーダーとTT

・副担任も授業へ参画

・年度初め、長期休業中の校内研修

・研究授業、モデル授業の公開

4. 本日の授業について

第一中学校 2年　描写「動物の描写」

旭小学校 1年　絵の分析
「どちらのえに ぴったりあうかな」

第一中2年

描写「動物の描写」

ねらい

- 二つのものの部位を比較し、情報を並べることで同じものでも異なる部分があることを理解させるとともに、説明のルールに従って相手にわかりやすく説明することができるようにする。

第一中2年　描写「動物の描写」

ねらい達成のために

〇アップとルーズで**全体や細部の情報分析。**

〇マグネットシートでの**説明のルールの確認。**

〇パラグラフ形式のツリーマップによる**視覚化。**

旭小1年　絵の分析
「どちらのえに　ぴったりあうかな」

ねらい

➡絵から得た情報を分類し、どうしてそう考えたか**根拠を示しながら**相手に伝えることができるようにする。

旭小1年　情報分析（絵の分析）
「どちらのえに　ぴったりあうかな」

ねらい達成のために

〇主語抜け、目的語抜けのないように**問い返す。**

〇多面的に捉えさせるための、**交流、絵の観察。**

〇友達同士での**聞き合い、問い返し。**

〇問答ゲームの**型の徹底。**

5. 成果と課題

成果と課題

〇結論先行型の定着。

〇発言に積極的な児童生徒の増加。

●「人物」以外の主語抜け。（児童）

●教材の工夫。

ご清聴ありがとうございました